授業プランシート

　【特設授業】　世界とつながる山田グスク　　　授業者：崎原（恩納村博物館）山田（沖縄県教育庁文化財課）

|  |
| --- |
| １　本時のねらい |
| ・身近な文化財（山田グスク・歴代宝案等）を通じて地域の歴史を考える・山田地域の歴史を世界とのつながりから学ぶ | （評価場面方法）文化財などの歴史資料から地域と世界のつながりを学び取れたか |
| ２　めあて、まとめ、振り返り |  |
| （まとめ）ｓ正対・山田グスクは地域の歴史を物語る大事な文化財・出土物や歴史資料から地域や世界とのつながりが分かる | （めあて）①　地元の文化財から地域の歴史を紐解くことができることを知る②　地域の歴史が世界とつながっていることを知る |
| （振り返り）  |
| ３　本時の展開（90分）　＊往復の移動（30分） | 　 |
|  | 学習活動・内容・発問 | 予想される反応 | 評価方法 |
| 移動１５分 | ・山田小学校からバスに乗車し恩納村博物館へ移動・博物館研修室へ移動・着席 |  |  |
| 展開1０分 | 1　特設授業の授業者の紹介・地域の歴史を紹介する博物館（崎原）・沖縄の歴史を編纂する文化財課（山田）発問：地域の歴史はどうやって調べる？→文化財・歴史資料から紐解く２ 考える枠組みを提示・山田グスクの概要について紹介→発問：どんなところ（イメージ）→発掘等の成果を紹介／今とのギャップ→歴史を調べる調査が行われている | 〇地域の歴史を調べる→本で調べる、大人に聞く○本や大人はどうやって歴史を調べる？→文化財・歴史資料から紐解く〇地元にある山田グスクを知らない／行ったことない／ただの山→グスクには地域の歴史が詰まっている | ・積極的に自分事として発問に答えているか |
| 展開①２５分 | 1 出土物（白磁・青磁）を観察する・２チームにわけ、それぞれ観察・出土物を触る（→陶磁器）／見る（→模様･形状）／比べる（→違い）から発見する作業：気付いたことをワークシートにメモ２ 出土物（白磁・青磁）の違いから分かることを紹介・触る／見る／比べるを通じて分かることを紹介→気付いていたか挙手などで確認・中国で作られた陶磁器であること、形状などから用途・産地・時期などが調査によって分かることを提示・出土物（貝、獣骨など）から見るひとびとのくらし（食事など）を紹介例、発問：昔の献立を考えてみよう？３ 出土物（刀）を考える発問：これ（出土物）は何だろうか・刀であることを紹介→復元模造を紹介・沖縄では金属が採れないことを紹介・日本からの輸入品（武器）→中国や日本など外の世界からやってきた多くのモノが見られる | 〇今と昔の器を比較する陶磁器は、・（触れると）ツルツルしている・模様・形状に違いがある・青磁と白磁を比べて似ている部分（ツルツル）と色や形に違い→違いを認識することが重要○自らが発見していた「違い」にさまざまな意味がある○考察→裏付け／他者の発見の共有○深い皿・碗などが多い→煮炊き（料理）していた→ごはんや汁物をよそう＊当時の食料は今とどう違うか○錆びていることから金属○グスクにあったので棒状のもの→武器○戦う場面が存在した | ・出土物の「違い」を発見しているか・「違い」を解説を通じて当時を考える「情報」に捉え直せているか・他者が発見した「違い」を共有できているか・出土物から情報や考察を引き出せているか・出土物から情報や考察を引き出せているか・地域と世界のつながりを理解できているか |
| 展開②２０分 | １ 当時の人びとが書いた文書（古文書）・歴史を調べる手段に文書（古文書）があることを紹介→『歴代宝案』・『歴代宝案の栞』を用いて外国に出された文書であることを紹介２ 文書から当時のモノの移動を知る・護佐丸が生きていた時代の文書（栞8p）・琉球の王様からタイの王様へ・地図を示して文書（にある贈り物のリスト）を紹介・さまざまな地域（世界）と交流しながら商品を手に入れ交易を行う琉球（の王様）発問：王様の贈り物のリストと山田グスクの出土物を比べてみよう→数人を指名して確認発問：なぜ山田グスクから同じようなものが出土するのだろうか→いろいろな状況が考えられ、さまざまな意見可（挙手または複数名指名も可）➡現在（調査・研究を通じて）歴史を「発見」していく作業の途中（仮説を提示：貿易品は一方で沖縄（恩納）の人びとのくらしにおいても使われるようになっている＝普及、世界とつながる山田グスク） | ○山田グスクが利用されていた時代の文書が残っている○文書から情報を読み取る○海外と深くつながった貿易を沖縄（琉球）は行っていた○青磁や刀がリストにもある（⇔ないものもある）○青磁には種類があり、数の多い碗が山田グスクでも出土○山田グスクでは貿易品であった物を使用している○山田グスクも貿易の拠点（貿易の主体は琉球の王様でありその枠組みの中にある点は注意） | ・歴史資料としての文書（『歴代宝案』）が残っていることを理解できているか・文書の紹介から当時の交流・貿易に海外の産品が多くもちいられていたことを理解できたか・出土物の情報とリストを対照させることができたか・出土物と歴代宝案にあるリストの関係を考え、主体的に両者の間にある未整理の関係を推測できたか |
| まとめ５分 | ・質疑応答又は事前の予想（発問：山田グスクのイメージ）を踏まえ、新しく分かったこと、学んだことをまとめよう・ワークシート記入＊新たな疑問も可（考察→疑問の発見を促す、疑問の回収は以後の授業などで活用） | 〇歴史を調べるのに文化財や資料（出土物など）が大事○山田グスクは大事な文化財○山田グスク＝山田の地域は世界とつながっていた | ・自分の考えをまとめることができたか・当初の予想を授業を通じて塗り替えることができたか |
| 移動１５分 | ・博物館からバスに乗車し小学校へ移動 |  |  |
| ４　使用教材 |  |
| 1山田グスク出土の青磁・白磁、刀（恩納村教育委員会）　　2[歴代宝案の栞](https://ryuoki-archive.jp/ryu-detail/?id=15312)（沖縄県教育委員会発行） |